

教科・科目		情報・情報 I			単位数	2単位
					対象学年	
担当者	1組	2組	3組	4組	5組	
教科書	新編 情報 I 東京書籍					
補助教材	なし					
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
教科の目標	情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得する。		問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。		情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	
科目の目標	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深めるようにする。		様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。		情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	情報で問題を解決する	知 情報モラルや個人情報、知的財産権などの基本的な考え方を理解し、情報社会で守るべきルールや責任について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラル ・個人情報の流出 ・傷つかない傷つけないために ・知的財産権 ・情報技術の発展 ・情報化と私たちの生活の変化 ・よりよい情報社会へ 	知 情報モラル、個人情報、知的財産権などについて理解し、情報社会におけるルールや責任を説明することができる。	〇〇〇	12
		思 情報技術の発展や情報化が私たちの生活に与える影響について考え、よりよい情報社会の実現に向けた行動を判断し、表現する力を養う。		思 情報技術の発展や情報化が私たちの生活に及ぼす影響について考え、よりよい情報社会の実現に向けた行動を判断し、自分の考えを表現することができる。		
		学 他者を尊重しながら情報を扱い、傷つけない・傷つかない行動を意識して、情報社会に主体的に関わろうとする態度を育てる。		態 他者を尊重し、傷つかない・傷つけない行動を意識しながら、情報を適切に扱おうとしている。		
1学期	情報を伝える	知 ネットコミュニケーションの特徴や、数値・文字・音・画像・動画などのデジタル表現の仕組みを理解するとともに、情報デザインやユニバーサルデザインの基本的な考え方を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットコミュニケーションの特徴 ・デジタルの世界へ ・数値と文字のデジタル表現 ・音と画像のデジタル表現 ・色と動画のデジタル表現 ・目的に応じたデジタル化 ・情報デザイン ・ユニバーサルデザイン 	知 ネットコミュニケーションの特徴や、数値・文字・音・画像・動画のデジタル表現、および情報デザインやユニバーサルデザインの考え方について理解し、説明することができる。	〇〇〇	12
		思 情報を伝える目的や受け手に応じて、適切なデジタル表現や情報デザインの方法を考え、判断し、表現する力を養う。		思 情報を伝える目的や受け手に応じて、適切なデジタル表現や情報デザインを選択し、その理由を含めて自分の考えを表現することができる。		
		学 相手や多様な利用者に配慮しながら情報を伝えようとし、よりよい情報伝達を目指して主体的に取り組む態度を育てる。		態 ネット上のコミュニケーションや情報の伝え方に配慮し、多様な人にとって分かりやすい情報伝達を意識して学習に取り組もうとしている。		
	期末考査				〇〇	1
2学期	コンピュータを活用する	知 コンピュータの基本的な構成やソフトウェアの仕組みを理解するとともに、アルゴリズムやプログラムの基本的な構造について理解し、簡単なプログラムを作成するための技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータとは何か ・ソフトウェアの仕組み ・アルゴリズムの表現 ・プログラムの基本構造1 ・プログラムの基本構造2 ・プログラミングの工夫 ・発展的なプログラム 	知 コンピュータの構成やソフトウェアの仕組み、アルゴリズムやプログラムの基本構造について理解し、基礎的なプログラムを作成することができる。	〇〇〇	16
		思 問題を解決するために、処理の手順をアルゴリズムとして整理し、目的に応じて適切なプログラムの構造や工夫を考え、表現する力を養う。		思 問題の内容に応じてアルゴリズムを考え、分岐や反復などを用いた適切なプログラム構造を判断し、自分の考えを表現することができる。		
		学 試行錯誤しながらプログラムを改善しようとし、コンピュータを活用して問題解決に主体的に取り組もうとする態度を育てる。		態 プログラムの実行結果を振り返り、よりよい解決を目指して修正や工夫を行おうとしている。		

	データを活用する	<p>知 ネットワークやインターネットの仕組み、サーバとクライアントの役割、インターネット上のサービスや情報セキュリティの基本について理解する。</p> <p>思 インターネットを安全かつ効果的に活用するために、情報のやり取りやセキュリティの重要性について考え、適切に判断し、表現する力を養う。</p> <p>学 ネットワークやインターネットに関心を持ち、情報セキュリティに配慮しながら、情報を適切に活用しようとする態度を育てる。</p>	<p>・ネットワークとインターネット</p> <p>・インターネットの仕組み</p> <p>・サーバとクライアント</p> <p>・インターネット上のサービス</p> <p>・情報セキュリティ</p>	<p>知 ネットワークとインターネットの仕組み、サーバとクライアントの役割、インターネット上のサービスや情報セキュリティについて理解し、説明することができる。</p> <p>思 インターネットを利用する場面に応じて、情報セキュリティの必要性を考え、適切な行動を判断し、自分の考えを表現することができる。</p> <p>態 情報セキュリティに配慮しながら、ネットワークやインターネットを適切に利用しようとしている。</p>	〇〇〇	16
	期末考査				〇〇	1
3学期	活動して提案する	<p>知 ピクトグラムや図解表現の特徴を理解するとともに、表計算ソフトウェアの基本操作を身に付け、情報を整理・表現する技能を身に付ける。</p> <p>思 伝える目的や内容に応じて、適切な表現方法やツールを選択し、分かりやすく情報を整理・表現する力を養う。インターネットのプロトコルが4階層で構</p> <p>学 他者に分かりやすく伝えることを意識しながら、主体的に活動し、工夫を重ねて提案しようとする態度を育てる。</p>	<p>・ピクトグラム</p> <p>・図解表現</p> <p>・表計算ソフトウェアの操作</p>	<p>知 ピクトグラムや図解表現の特徴を理解し、表計算ソフトウェアを用いて情報を整理・表現することができる。LAN, WAN, インターネットの構造</p> <p>思 目的や相手に応じて適切な表現方法を判断し、表計算ソフトウェア等を活用して分かりやすく情報を表現することができる。</p> <p>態 他者に伝わる表現を意識し、よりよい提案を目指して主体的に活動しようとしている。</p>	〇〇〇	20

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		情報・PC技術演習			単位数	2単位
					対象学年	2学年
担当者		X1	X2			
教科書		なし				
補助教材		令和8年度 問題集 日本語ワープロ検定 準2・2級 令和8年度 問題集 情報処理技能検定試験 表計算 準2・2級				
目標		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得する。	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。		
科目の目標		課題の内容を理解し、各種ソフトウェアの操作を行うことができる。	より効率的で短時間で処理できる工夫を自ら探すことができる。	自らの課題に意欲的に取り組み、適切で効率的な処理方法を考えようとする姿勢を持っている		
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	ワープロソフトの発展的な学習	知 正確さと速さをもって文字入力ができる。読みやすい文書作成ができるようになる。	・ワープロ検定準2級の内容 (文書)均等割付、表の網掛け、表内の結合 (速度)10分で400文字	知 10分で400文字を正確に入力することができる。文書の体裁を整える技術が身についている。	〇〇〇	5
		思 ワープロソフトの機能を理解し、効果的な文書作成方法を考えさせる。		思 文字入力を正確に速く入力するためにタッチタイピングを身に付ける工夫について考えることができる。効率よく文書作成するための方法を考えることができる。		
		学 正確で速く文字入力ができ、見やすい文書作成をすることに対して興味関心を持って知ろうとすることができるようになる。		学 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。		
表計算ソフトの発展的な学習	知 表計算ソフトのデータ入力方法、合計、平均の算出の仕方、罫線、中央ぞろえ等の体裁について適切な処理を行うことができるようになる。	表計算準2級の内容 計算式と基本関数 ・四則演算(+ - × ÷) ・合計:SUM 関数・平均:AVERAGE 関数 ・最大値・最小値:MAX / MIN・順位付け:RANK・構成比率・割合計算 判断処理(条件分岐) ・IF関数による条件判断・多重判断(ネスト)・IF関数を入れ子にした条件分岐・論理演算子の使用(AND・OR)	知 表計算ソフトを用いて、関数(IF、VLOOKUP等)や表検索、端数処理、日付計算を正しく行うことができる。処理条件に従って表を完成させ、指定された形式でグラフを作成・印刷することができる。	〇〇〇	5	
	思 表計算ソフトの機能を理解し、問題解決のための効果的な利用方法を考えさせる。		思 処理条件を理解し、必要な関数や計算方法を判断して、適切な処理手順を考えることができる。データの内容や目的に応じて、表やグラフを分かりやすく表現することができる。			
	学 問題解決の道具としての表計算ソフトに関心を持ちデータ入力、合計、平均の算出、体裁の整え方について興味関心を持って知ろうとすることができるようになる。		学 課題や検定に向けて、意欲的に表計算ソフトの操作学習に取り組んでいる。正確で効率的な処理を目指し、操作ミスの修正や見直しを粘り強く行っている。			
中間考査						1
ワープロソフトの発展的な学習	知 正確さと速さをもって文字入力ができる。読みやすい文書作成ができるようになる。	ワープロ検定準2級の内容 (文書)均等割付、表の網掛け、表内の結合 (速度)10分で400文字	知 10分で400文字を正確に入力することができる。文書の体裁を整える技術が身についている。	〇〇〇	6	
	思 ワープロソフトの機能を理解し、効果的な文書作成方法を考えさせる。		思 文字入力を正確に速く入力するためにタッチタイピングを身に付ける工夫について考えることができる。効率よく文書作成するための方法を考えることができる。			
	学 正確で速く文字入力ができ、見やすい文書作成をすることに対して興味関心を持って知ろうとすることができるようになる。		学 積極的に課題に取り組むことができ、適切な処理を行うために粘り強く処理をしていく姿勢が身についている。			

	表計算ソフトの発展的な学習	<p>知 表計算ソフトのデータ入力方法、合計、平均の算出の仕方、罫線、中央ぞろえ等の体裁について適切な処理を行うことができるようになる。</p> <p>思 表計算ソフトの機能を理解し、問題解決のための効果的な利用方法を考えさせる。</p> <p>学 問題解決の道具としての表計算ソフトに関心を持ちデータ入力、合計、平均の算出、体裁の整え方について興味関心を持って知ろうとすることができるようになる。</p>	<p>表計算準2級の内容 計算式と基本関数 ・四則演算(+ - × ÷) 合計:SUM 関数・平均:AVERAGE 関数 ・最大値・最小値:MAX / MIN・順位付け:RANK・構成比率・割合計算 判断処理(条件分岐) ・IF関数による条件判断・多重判断(ネスト)・IF関数を入れ子にした条件分岐・論理演算子の使用(AND・OR)</p>	<p>知 表計算ソフトを用いて、関数(IF、VLOOKUP等)や表検索、端数処理、日付計算を正しく行うことができる。処理条件に従って表を完成させ、指定された形式でグラフを作成・印刷することができる。</p> <p>思 処理条件を理解し、必要な関数や計算方法を判断して、適切な処理手順を考えることができる。データの内容や目的に応じて、表やグラフを分かりやすく表現することができる。</p> <p>学 課題や検定に向けて、意欲的に表計算ソフトの操作学習に取り組んでいる。正確で効率的な処理を目指し、操作ミスの修正や見直しを粘り強く行っている。</p>	000	7
	期末考査				000	1
2学期	ワープロソフトの発展的な学習	<p>知 正確さと速さをもって文字入力ができる。読みやすい文書作成ができるようになる。</p> <p>思 ワープロソフトの機能を理解し、効果的な文書作成方法を考えさせる。</p> <p>学 正確で速く文字入力ができ、見やすい文書作成をすることに対して興味関心を持って知ろうとすることができるようになる。</p>	<p>ワープロ検定2級の内容(文書)均等割付、表の網掛け、表内の結合、切り取り線(速度)10分で500文字</p>	<p>知 均等割付、表の網掛け、表内の結合、切り取り線を用いて、体裁の整った文書を作成することができる。文章入力において、10分間で500文字程度を正確に入力することができる。</p> <p>思 文書の内容に応じて、均等割付や表内の結合などの機能を適切に選択し、読みやすい文書構成を考えることができる。文書全体のレイアウトを意識し、情報を分かりやすく表現することができる。</p> <p>学 ワープロ検定2級合格を目標に、文書作成や文字入力の練習に意欲的に取り組んでいる。より正確で速い入力を目指し、自ら見直しや改善を行おうとしている。</p>	000	7
	表計算ソフトの発展的な学習	<p>知 表検索関数や条件分岐、日付・時刻の計算など、表計算ソフトの応用的な操作技能を身に付ける。</p> <p>思 処理条件を基に、適切な関数や計算方法を判断し、表やグラフを用いて分かりやすく表現する力を養う。</p> <p>学 表計算ソフトを問題解決の道具として主体的に活用し、正確で効率的な処理を目指して粘り強く取り組む態度を育てる。</p>	<p>表計算2級の内容 ・表検索関数(VLOOKUP等)の応用 ・IF関数の入れ子やAND・ORを用いた条件処理 ・日付・時刻の計算 ・セルの証明(数式結果の文字列化) ・データに応じた多様なグラフ作成</p>	<p>知 関数(VLOOKUP等)の応用、多重判断文、時刻の計算を正しく行うことができる。処理条件に従って表を完成させ、目的に応じた多様なグラフを作成・印刷することができる。</p> <p>思 データの内容や処理条件を基に、適切な関数や計算方法を判断し、効率的な処理手順を考えることができる。表やグラフを用いて、情報を分かりやすく表現することができる。</p> <p>学 表計算検定2級合格を目標に、意欲的に高度な操作や課題に取り組んでいる。正確で効率的な処理を目指し、操作の見直しや改善を粘り強く行っている。</p>	000	7
	中間考査				000	1
	ワープロソフトの発展的な学習	<p>知 正確さと速さをもって文字入力ができる。読みやすい文書作成ができるようになる。</p> <p>思 ワープロソフトの機能を理解し、効果的な文書作成方法を考えさせる。</p>	<p>・ワープロ検定2級の内容(文書)均等割付、表の網掛け、表内の結合、切り取り線(速度)10分で500文字</p>	<p>知 均等割付、表の網掛け、表内の結合、切り取り線を用いて、体裁の整った文書を作成することができる。文章入力において、10分間で500文字程度を正確に入力することができる。</p> <p>思 文書の内容に応じて、均等割付や表内の結合などの機能を適切に選択し、読みやすい文書構成を考えることができる。文書全体のレイアウトを意識し、情報を分かりやすく表現することができる。</p>	000	8

		学 正確で速く文字入力ができ、見やすい文書作成をすることに対して興味関心を持って知ろうとすることができるようになる。		学 ワープロ検定2級合格を目標に、文書作成や文字入力の練習に意欲的に取り組んでいる。 より正確で速い入力を目指し、自ら見直しや改善を行おうとしている。		
	表計算ソフトの発展的な学習	知 表検索関数や条件分岐、日付・時刻の計算など、表計算ソフトの応用的な操作技能を身に付ける。	表計算2級の内容 ・表検索関数(VLOOKUP等)の応用 ・IF関数の入れ子やAND・ORを用いた条件処理 ・日付・時刻の計算 ・セルの証明(数式結果の文字列化) ・データに応じた多様なグラフ作成	知 関数(VLOOKUP等)の応用、多重判断文、時刻の計算を正しく行うことができる。処理条件に従って表を完成させ、目的に応じた多様なグラフを作成・印刷することができる。	〇〇〇	9
		思 処理条件を基に、適切な関数や計算方法を判断し、表やグラフを用いて分かりやすく表現する力を養う。		思 データの内容や処理条件を基に、適切な関数や計算方法を判断し、効率的な処理手順を考えることができる。表やグラフを用いて、情報を分かりやすく表現することができる。		
		学 表計算ソフトを問題解決の道具として主体的に活用し、正確で効率的な処理を目指して粘り強く取り組む態度を育てる。		学 表計算検定2級合格を目標に、意欲的に高度な操作や課題に取り組んでいる。正確で効率的な処理を目指し、操作の見直しや改善を粘り強く行っている。		
	期末考査				〇〇〇	1
3学期	ワープロソフトの発展的な学習	知 正確さと速さをもって文字入力ができる。読みやすい文書作成ができるようになる。	・ワープロ検定2級の内容(文書)均等割付、表の網掛け、表内の結合、切り取り線 (速度)10分で500文字	知 均等割付、表の網掛け、表内の結合、切り取り線を用いて、体裁の整った文書を作成することができる。文章入力において、10分間で500文字程度を正確に入力することができる。	〇〇〇	9
		思 ワープロソフトの機能を理解し、効果的な文書作成方法を考えさせる。		思 文書の内容に応じて、均等割付や表内の結合などの機能を適切に選択し、読みやすい文書構成を考えることができる。文書全体のレイアウトを意識し、情報を分かりやすく表現することができる。		
		学 正確で速く文字入力ができ、見やすい文書作成をすることに対して興味関心を持って知ろうとすることができるようになる。		学 ワープロ検定2級合格を目標に、文書作成や文字入力の練習に意欲的に取り組んでいる。 より正確で速い入力を目指し、自ら見直しや改善を行おうとしている。		
	表計算ソフトの発展的な学習	知 表検索関数や条件分岐、日付・時刻の計算など、表計算ソフトの応用的な操作技能を身に付ける。	表計算2級の内容 ・表検索関数(VLOOKUP等)の応用 ・IF関数の入れ子やAND・ORを用いた条件処理 ・日付・時刻の計算 ・セルの証明(数式結果の文字列化) ・データに応じた多様なグラフ作成	知 関数(VLOOKUP等)の応用、多重判断文、時刻の計算を正しく行うことができる。処理条件に従って表を完成させ、目的に応じた多様なグラフを作成・印刷することができる。	〇〇〇	10
		思 処理条件を基に、適切な関数や計算方法を判断し、表やグラフを用いて分かりやすく表現する力を養う。		思 データの内容や処理条件を基に、適切な関数や計算方法を判断し、効率的な処理手順を考えることができる。表やグラフを用いて、情報を分かりやすく表現することができる。		
		学 表計算ソフトを問題解決の道具として主体的に活用し、正確で効率的な処理を目指して粘り強く取り組む態度を育てる。		学 表計算検定2級合格を目標に、意欲的に高度な操作や課題に取り組んでいる。正確で効率的な処理を目指し、操作の見直しや改善を粘り強く行っている。		
	期末考査				〇〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		情報 PC技術			単位数	2単位
					対象学年	3学年
担当者		Y2				
教科書		なし				
補助教材		令和8年度 問題集 日本語ワープロ検定 準1・1級 令和8年度 問題集 情報処理技能検定試験 表計算 準1・1級				
目標		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		日本語ワープロソフトの効果的な活用方法について理解し、日本語の入力および文書作成能力を身に付けさせる。 表計算ソフトで関数やグラフ作成の機能について理解し活用することができるようになる。	ビジネスシーンで求められる文書作成において情報を的確かつ正確に伝達する方法について思考し、文書を作成することができるようになる。 データをわかりやすく伝えるために適切な方法を選択することができるようになる。	実践的な文書作成、高度な表計算活用に対して向上心を持ち練習に取り組むことができるようになる。 検定取得に向けて目標を持ち意欲的に取り組むことができるようになる。 お互いに教え合い共に向上していこうとする姿勢を身に付けさせる。		
科目の目標		ワープロソフトを使いビジネスシーンで活用できる知識と技能を身に付けさせる。 表計算ソフトの高度な関数やグラフ作成機能についての知識と技能を身に付け活用することができるようになる。	ワープロソフトを活用し効率的で正確な情報伝達に適した文書を作成することができるようになる。 表計算ソフトを活用し関数やグラフを使い情報を適切に処理しわかりやすく伝達することができるようになる。	ワープロソフト、表計算ソフトを活用しより効率的で効果的な方法を理解し考え抜く姿勢を身につけることができるようになる。 お互いに教え合い共に向上していこうとする姿勢を身に付けさせる。		
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	ワープロ準1級	知 日本語ワープロソフトの応用的な機能について理解し、制限時間内に正確な日本語入力および、表や地図を含むビジネス文書を適切な体裁で作成できる技能を身につける。 タッチタイピングによる入力速度と正確性を高め、実務に対応できる文書作成能力を養う。	ワープロ検定準1級の内容 (文書)表や地図を含む文書作成 (速度)10分で600文字	知 日本語ワープロソフトの基本操作および応用的な機能について理解し、制限時間内に正確な日本語入力を行うことができる。ビジネス文書の構成や書式を理解し、表や地図を含む文書を正しく作成する技能を身につけている。	〇〇〇	7
		思 伝えたい情報や目的に応じて文書構成や表現方法を判断し、読み手にとって分かりやすい文書を作成することができるようにする。 文書内の表や地図を効果的に配置し、情報を整理して的確に表現する力を養う。		思 伝えたい情報や目的に応じて文書構成や表現方法を判断し、読み手にとって分かりやすい文書を作成することができる。 表や地図を効果的に用いて情報を整理し、的確に表現している。		
	表計算準1級	学 日本語ワープロ検定準1級の合格を目標に、主体的かつ継続的に練習や課題に取り組む態度を身につける。 自らの入力ミスや文書の完成度を振り返り、改善を重ねながら技能向上を図ろうとする姿勢を養う。	表計算準1級の内容 表計算式・関数の活用(応用) ・表検索関数の応用(VLOOKUP等)・判断・論理処理(IF, AND, OR)・端数処理(切り捨て・切り上げ・四捨五入)・日付・時刻計算 データベース関数の使用 ・DSUM, DMAXなどのデータベース関数・条件に応じた集計・分析処理 データ処理 ・並べ替え(ソート)・条件に基づいた集計結果の作	主 日本語ワープロ検定準1級の合格を目標に、主体的かつ継続的に練習や課題に取り組んでいる。 自身の入力ミスや文書の完成度を振り返り、改善を重ねながら技能向上を図ろうとしている。	〇〇〇	8
		知 表計算ソフトの応用的な機能について理解し、関数・データベース関数・グラフ作成などを用いて、条件に応じた正確な表や資料を作成できるようにする。 複数のデータを統合・分析し、指定された処理条件に基づいて効率的に情報処理を行う技能を身につける。		知 表計算ソフトの応用的な機能について理解し、関数、データベース関数、グラフ作成などを適切に用いて、正確な表や資料を作成することができる。 指定された処理条件に基づき、計算式や書式設定、データ処理を誤りなく行い、完成度の高い成果物を作成している。		
		思 処理条件を正しく読み取り、どの関数や処理方法を用いるべきかを判断し、論理的に計算式や表構成を組み立てることができるようにする。 データの特徴や目的に応じて、表やグラフを用いた分かりやすい表現方法を工夫し、情報を的確に伝える力を養う。		思 処理条件や目的を正しく理解し、最適な関数や処理方法を判断して、論理的に表や計算式を構成することができる。 データの特徴を踏まえ、表やグラフを用いて、情報を分かりやすく的確に表現している。		

	<p>学 表計算検定準1級の合格を目標に、主体的かつ計画的に練習や課題に取り組もうとする態度を養う。 自身のミスや課題を振り返り、改善を重ねながらより高度な表計算技能の習得を目指そうとする姿勢を身につける。</p>	<p>成 グラフ作成 ・指定された条件に基づく グラフ作成・タイトル・凡 例・軸の適切な設定</p>	<p>主 表計算検定準1級の合格を目標に、意欲的かつ継続的に練習や課題に取り組んでいる。 自身の課題やミスを振り返り、改善を重ねながら技能向上を図ろうとする姿勢が見られる。</p>		
中間考査				〇〇	1
ワープロ準1級	<p>知 日本語ワープロソフトの応用的な機能について理解し、制限時間内に正確な日本語入力および、表や地図を含むビジネス文書を適切な体裁で作成できる技能を身につける。 タッチタイピングによる入力速度と正確性を高め、実務に対応できる文書作成能力を養う。</p>	<p>ワープロ検定準1級の内容 (文書)表や地図を含む文書作成 (速度)10分で600文字</p>	<p>知 日本語ワープロソフトの基本操作および応用的な機能について理解し、制限時間内に正確な日本語入力を行うことができる。ビジネス文書の構成や書式を理解し、表や地図を含む文書を正しく作成する技能を身につけている。</p>	〇〇〇	7
	<p>思 伝えたい情報や目的に応じて文書構成や表現方法を判断し、読み手にとって分かりやすい文書を作成することができるようにする。 文書内の表や地図を効果的に配置し、情報を整理して的確に表現する力を養う。</p>		<p>思 伝えたい情報や目的に応じて文書構成や表現方法を判断し、読み手にとって分かりやすい文書を作成することができる。 表や地図を効果的に用いて情報を整理し、的確に表現している。</p>		
	<p>学 日本語ワープロ検定準1級の合格を目標に、主体的かつ継続的に練習や課題に取り組む態度を身につける。 自らの入力ミスや文書の完成度を振り返り、改善を重ねながら技能向上を図ろうとする姿勢を養う。</p>		<p>主 日本語ワープロ検定準1級の合格を目標に、主体的かつ継続的に練習や課題に取り組んでいる。 自身の入力ミスや文書の完成度を振り返り、改善を重ねながら技能向上を図ろうとしている。</p>		
表計算準1級	<p>知 表計算ソフトの応用的な機能について理解し、関数・データベース関数・グラフ作成などを用いて、条件に応じた正確な表や資料を作成できるようにする。 複数のデータを統合・分析し、指定された処理条件に基づいて効率的に情報処理を行う技能を身につける。</p>	<p>表計算準1級の内容 表計算式・関数の活用 (応用) ・表検索関数の応用 (VLOOKUP等)・判断・論理処理(IF、AND、OR)・端数処理(切り捨て・切り上げ・四捨五入)・日付・時刻計算 データベース関数の使用 ・DSUM、DMAXなどのデータベース関数・条件に応じた集計・分析処理 データ処理 ・並べ替え(ソート)・条件に基づいた集計結果の作成</p>	<p>知 表計算ソフトの応用的な機能について理解し、関数、データベース関数、グラフ作成などを適切に用いて、正確な表や資料を作成することができる。 指定された処理条件に基づき、計算式や書式設定、データ処理を誤りなく行い、完成度の高い成果物を作成している。</p>	〇〇〇	8
	<p>思 処理条件を正しく読み取り、どの関数や処理方法を用いるべきかを判断し、論理的に計算式や表構成を組み立てることができるようにする。 データの特徴や目的に応じて、表やグラフを用いた分かりやすい表現方法を工夫し、情報を的確に伝える力を養う。</p>		<p>思 処理条件や目的を正しく理解し、最適な関数や処理方法を判断して、論理的に表や計算式を構成することができる。 データの特徴を踏まえ、表やグラフを用いて、情報を分かりやすく的確に表現している。</p>		
	<p>学 表計算検定準1級の合格を目標に、主体的かつ計画的に練習や課題に取り組もうとする態度を養う。 自身のミスや課題を振り返り、改善を重ねながらより高度な表計算技能の習得を目指そうとする姿勢を身につける。</p>		<p>主 表計算検定準1級の合格を目標に、意欲的かつ継続的に練習や課題に取り組んでいる。 自身の課題やミスを振り返り、改善を重ねながら技能向上を図ろうとする姿勢が見られる。</p>		
期末考査				〇〇	1
2学期	<p>知 日本語ワープロソフトの高度な機能を理解し、制限時間内に正確かつ高速な日本語入力と、表や地図を含むビジネス文書の作成ができるようにする。</p>	<p>ワープロ検定準1級の内容 (文書)表や地図を含む文書作成 (速度)10分で700文字</p>	<p>知 日本語ワープロソフトの高度な機能を理解し、制限時間内に正確かつ高速な日本語入力を行い、表や地図を含むビジネス文書を適切な体裁で作成することができる。</p>	〇〇〇	8
	<p>思 目的や読み手を意識して文書構成や表現方法を判断し、情報を分かりやすく的確に伝える文書を作成することができるようにする。</p>		<p>思 目的や読み手を意識して文書構成や情報の配置、表現方法を判断し、表や地図を活用しながら、情報を分かりやすく的確に伝える文書を作成している。</p>		
	<p>学 日本語ワープロ検定1級の合格を目標に、主体的かつ継続的に練習や課題に取り組もうとする態度を養う。</p>		<p>主 日本語ワープロ検定1級の合格を目標に、高い基準を意識して主体的かつ継続的に練習や課題に取り組み、技能向上を図ろうとしている。</p>		

	表計算1級	<p>知 表計算ソフトの高度な機能を理解し、応用的な関数やデータベース関数、文字列操作関数などを用いて、条件に応じた正確な表や資料を作成できるようにする。</p> <p>思 処理条件を正確に読み取り、最適な関数や処理方法を判断して、論理的にデータ処理・分析を行い、表やグラフを用いて分かりやすく表現する力を養う。</p> <p>学 表計算検定1級の合格を目標に、主体的かつ計画的に課題や演習に取り組み、より高度な表計算技能の習得を目指そうとする態度を身につける。</p>	<p>関数の活用 文字列操作関数 ・LEFT / RIGHT / MID・CONCATENATE (または & 演算子) 特殊関数 ・ABS など 判断・論理処理 ・IF、AND、OR の組み合わせ 表検索・計算処理の応用 データベース関数の応用 ・DSUM、DMAX などを用いた 条件抽出・集計・抽出後のデータ処理 データ処理・分析 複数条件をもとにしたデータの抽出・分析 論理的な計算式による情報処理 グラフ作成</p>	<p>知 表計算ソフトの高度な機能や応用的な関数、文字列操作関数、データベース関数を適切に用いて、条件に応じた正確な表や資料を作成することができる。</p> <p>思 処理条件や目的を的確に理解し、最適な関数や処理方法を判断して、論理的にデータ処理・分析を行い、表やグラフを用いて分かりやすく表現している。</p> <p>主 表計算検定1級の合格を目標に、高い水準を意識して主体的かつ計画的に課題や演習に取り組み、技能向上を図ろうとしている。</p>	000	9
	中間考査				000	1
	ワープロ1級	<p>知 日本語ワープロソフトの高度な機能を理解し、制限時間内に正確かつ高速な日本語入力と、表や地図を含むビジネス文書の作成ができるようにする。</p> <p>思 目的や読み手を意識して文書構成や表現方法を判断し、情報を分かりやすく的確に伝える文書を作成することができるようにする。</p> <p>学 日本語ワープロ検定1級の合格を目標に、主体的かつ継続的に練習や課題に取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>ワープロ検定準1級の内容 (文書) 表や地図を含む文書作成 (速度) 10分で700文字</p>	<p>知 日本語ワープロソフトの高度な機能を理解し、制限時間内に正確かつ高速な日本語入力を行い、表や地図を含むビジネス文書を適切な体裁で作成することができる。</p> <p>思 目的や読み手を意識して文書構成や情報の配置、表現方法を判断し、表や地図を活用しながら、情報を分かりやすく的確に伝える文書を作成している。</p> <p>主 日本語ワープロ検定1級の合格を目標に、高い基準を意識して主体的かつ継続的に練習や課題に取り組む、技能向上を図ろうとしている。</p>	000	9
	表計算1級	<p>知 表計算ソフトの高度な機能を理解し、応用的な関数やデータベース関数、文字列操作関数などを用いて、条件に応じた正確な表や資料を作成できるようにする。</p> <p>思 処理条件を正確に読み取り、最適な関数や処理方法を判断して、論理的にデータ処理・分析を行い、表やグラフを用いて分かりやすく表現する力を養う。</p> <p>学 表計算検定1級の合格を目標に、主体的かつ計画的に課題や演習に取り組み、より高度な表計算技能の習得を目指そうとする態度を身につける。</p>	<p>関数の活用 文字列操作関数 ・LEFT / RIGHT / MID・CONCATENATE (または & 演算子) 特殊関数 ・ABS など 判断・論理処理 ・IF、AND、OR の組み合わせ 表検索・計算処理の応用 データベース関数の応用 ・DSUM、DMAX などを用いた 条件抽出・集計・抽出後のデータ処理 データ処理・分析 複数条件をもとにしたデータの抽出・分析 論理的な計算式による情報処理 グラフ作成</p>	<p>知 表計算ソフトの高度な機能や応用的な関数、文字列操作関数、データベース関数を適切に用いて、条件に応じた正確な表や資料を作成することができる。</p> <p>思 処理条件や目的を的確に理解し、最適な関数や処理方法を判断して、論理的にデータ処理・分析を行い、表やグラフを用いて分かりやすく表現している。</p> <p>主 表計算検定1級の合格を目標に、高い水準を意識して主体的かつ計画的に課題や演習に取り組み、技能向上を図ろうとしている。</p>	000	10
	期末考査				000	1
3学期		<p>知 プログラミングの基本的な仕組みを理解し、順次処理や単純な分岐処理を用いて、変数や演算子、関数を使った簡単なプログラムを正しく作成できるようにする。</p>	<p>基本的な処理構造 順次構造 上から順に命令が実行される流れを理解する。 分岐構造 (if / if else) 条件によって処理が変わる</p>	<p>知 プログラミングの基本的な仕組みを理解し、順次処理や単純な分岐処理を用いて、変数や演算子、関数を使った簡単なプログラムを正しく作成している。</p>		

プログラミング基礎	<p>思 処理条件を読み取り、命令の順序や条件の違いを考えながら、正しく動作するプログラムの構成を考えることができるようにする。</p>	<p>る仕組みを理解し、正しく動作させる プログラミング要素(4級範囲) 表示する文字の入力・算術演算子(+・-・×・÷)の使用・文字列の結合(+) 変数の扱いと代入(=) 比較演算子(==、<、>、≤、≥)の利用 データの型(数値・文字列)の理解 関数の基礎 引数なしの関数作成・関数を呼び出して処理をまとめる考え方を理解する</p>	<p>思 処理条件を正しく読み取り、命令の順序や条件の違いを考えながら、正しく動作するプログラムを構成している。</p>	〇〇〇	8
	<p>学 プログラミング技能検定4級の合格を目標に、試行錯誤を重ねながら主体的に課題に取り組み、改善しようとする態度を身につける。</p>	<p>主 プログラミング技能検定4級の合格を目標に、試行錯誤しながら主体的に課題に取り組み、改善しようとする姿勢が見られる。</p>			

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度